

令和7年度 第1回酒田市ボランティア・公益活動推進委員会 会議録

日 時 | 令和7年5月26日(月) 14:00~15:00

場 所 | 酒田市中町交流ひろば

1 開 会

2 委員紹介

3 あいさつ

会長

4 協議事項

令和6年度事業の報告および令和7年度事業の計画(案)について

(質問・意見等)

■令和6年度事業報告

委 員 | 資料1裏面 R6年度 反省点 ①公益活動支援補助金件数の減少について。
R7は申請3件だったが、審査手続き中に1件辞退されている。その理由は何だったのか、教えていただけるとありがたい。

事務局 | メールで「予算と日程が折り合わず実施が難しいと判断した」と連絡をいただいた。うまく調整するに至らなかったのかなと受けとめている。

■令和7年度事業計画(案)

会 長 | 資料1裏面 R7年度 新たな取り組み ①公益活動支援補助金の募集時期等見直しについて。資料3-1と3-2に記載のとおり、現行も含めてNO.①~④まで4パターンある。事務局としてはNO.②がいいのではないかとのことだが、ご意見等あればお聞かせ願いたい。

委 員 | 募集時期は4パターンあるが、事業の実施は3月までと考えているのか。

事務局 | 事業の実施は3月31日までと考えている。

委 員 | 年度内に予算の整理をする必要があり、3月までではなく、2月までという考え方もできるかもしれない。今のところは4月1日から3月31日までということか。

事務局 | 今のところ、そのように考えている。

会 長 | 現状では3月1日から募集が始まり、4月初めに締切となっている。4月に入ってから募集開始にした場合、皆さまにとってどうか。

- 委員 | やまがた社会貢献基金等に申請することがあるが、3～4月はバタバタしていて気持ちはあってもなかなか難しい。4月の落ち着いた頃からのほうがいいのではないか。
- 委員 | 申請を考えていた知人から、募集開始から締切までの期間が短すぎて断念したと言われた。募集時期も大事だが、年度変わりの忙しい時期に、主婦業をしながら今まで書いたこともないような膨大な資料を提出するのは大変だと思う。
- 会長 | この補助金はNPO やかなり確立された団体だけではなく、自主団体も申請できる。事務能力に長けた人がいないと、団体の収支予算・決算書類をきちんと提出することが難しいと思う。
- 委員 | 3月1日に募集開始してから、申請の準備をしても間に合わないと思う。募集開始することを早めに周知する必要があると思うし、団体の収支予算・決算書類を提出不要とすることは負担軽減になると思う。前年度の事業のことでバタバタしていて、やっと終わったと思うともう締切。会員と総会で次年度の計画を立ててからの申請ということも考慮し、4月以降に募集を開始したほうがよいと思われる。また、委員のご意見のとおり、事業の実施は3月までにすると、次年度の申請に影響してしまう恐れがある。事業期間を2月までにしている補助金等もいくつかある。また、もしかしたら私たちも振り返りが必要で、私たちが承認した事業の実績について、しっかりと1度確認することもできるのではないかと思う。
- 会長 | 書類の受付開始の前に、周知の助走期間が必要なのもかもしれない。
- 委員 | 募集期間は1か月程あるが、毎年実施していること自体あまり知られていないのもかもしれない。予算成立後に周知を始めて、募集期間は5～6月頃にするのもいいのではないか。
- 会長 | 補助金交付決定前の支出も補助対象にするとしても、夏のイベントの時期が過ぎてから交付決定となるのも厳しいのではないか。
- 委員 | 採択か不採択かわからない状態で、事業を進めていくリスクをどう回避できるのか。「結果が出る前から進めていいと言われたから進めたのに不採択なの!？」と、団体から思われぬよう、説明も重要。
- 会長 | 時期的にはNO.②がいいと思うが、申請団体の準備のことを考えるとNO.③も考えられる。
- 委員 | 募集期間の決まりはあるのか。
- 事務局 | 決まりがあるわけではない。令和7年度事業の募集については、市広報で3月からの募集ということを周知し、早めに準備していただけるよう2月中旬に説明会を実施した。また、助走期間として、インスタグラムを活用

して事業実績を掲載し周知に努めていたが、それでも周知が足りていなかったなと思うので、引き続き早めの周知と周知の仕方についても検討していきたいと思う。NO.②とNO.③に関して、団体にとって4月に入ってから募集のほうがいいのではないかというご意見があったが、5月に入ってから募集はいかがか。

委員 | 周知が十分にできていれば、募集期間は連休明けの5月中旬から6月中旬まで1か月間位でいいのではないかと思う。あまり長すぎると、そのうちとっているうちに忘れてしまうこともあるかもしれない。

委員 | 申請をその都度採択していくのならいいが、現行のようにまとめて審査し、採択する場合、夏のイベントに間に合わなくなってしまう。

委員 | 事務局の説明のとおり、早めに説明会をして周知し、団体の準備期間を長くすれば、募集期間はそんなに長くなくてもいいのではないかと思う。

会長 | NO.②かNO.③が有力だと思うが、委員のご意見のとおり、5月の委員会の際に前年度の助成団体の報告をしていただければ、私たちもふり返りができていいと思う。皆さまからは、募集期間はあまり長くなくても、NO.②とNO.③の間位にして、夏のイベントには間に合うようにしたほうがよいという意見が多かったなと思う。

事務局 | NO.②の場合、市広報4月1日号に掲載して周知することになるので、年度初めのいろいろな情報に混ざる恐れが少しあるが、周知を工夫していきたいと思う。

会長 | 市広報が月1回になりボリュームがある。次回の5月1日号では遅くなってしまう。

事務局 | 昨年度の補助金実施事業のふり返りについては資料5にあるが、5月の委員会は終了後に補助金の審査会もあり、説明を割愛させていただいている。

会長 | 委員会の時期を変更するのであれば、5月の委員会でふり返りを行い、補助金の審査会は別日にずらすことも可能ということになる。「事業の進捗状況報告」については、今回の「事業報告」とほぼ同じ内容となり、2月は開催しなくてもいいのではないかとも思う。

事務局 | 委員改選があるときは、どうなったのかわからないまま委員が変わってしまうということもあるのかもしれない。

会長 | 続いて、②登録団体の寄付・ボランティア募集のリストアップおよび公開について、③情報発信の強化について、ご意見等あればお聞かせ願いたい。(※ご意見等なし)

何かアイデア等あれば、事務局に直接お伝えいただければと思う。

5 その他

委員 | 先ほどの事業報告で、サンロクでコミュニティファンドの創設を目指す動きがあり、市民や会員から寄付金を集めて若者による活動に助成するとの説明があったが、被る部分があるというか、どのような棲み分けになるのか、興味がある人がいると思う。どのように答えていけばいいのか教えていただきたい。

事務局 | こちらで把握していることしかお答えできないが、公益活動全般を支援するものというよりは、若者に特化しているものと聞いている。若者が酒田にいるときに自分たちの手で町おこしをすることにより、シビックプライドなどを醸成し、進学や就職等で県外に行っても酒田に関心を持ち続けて戻ってきてもらうということも狙っている取り組みと聞いている。インスタグラム等でコミュニティファンドの活動内容等を公表しているが、コミュニティファンドに登録している団体の中でボラポートさかたにも登録している団体もあり、被るところはあるだろうと思う。棲み分けとなると、どのようにしていくべきかわからないところではあるが、コミュニティファンドへアプローチをして、連携できるところは連携していければと考えている。

委員 | 私は酒田商工会議所の代表として来ているわけだが、以前から企業がいろいろなところに寄付活動や応援をしたいという希望があった。先日の全体会にコミュニティファンドの方が来て「ぜひ皆さんうちのところに」とお願いがあった。その前は、RDD in 酒田西高実行委員会の生徒が来て活動の報告や企業の協力依頼があった。例えば西高生に対して、コミュニティファンドを支援したらいいのか、どのようにしたらいいのか、私たちもしっかり情報を得て進めていかなければいけないなと思う。

会長 | 他から補助金や寄付等をいただいているところに対して、酒田市の補助金の対象とするのかどうか。RDD in 酒田西高実行委員会は酒田市の負担金を利用して1年目。他の補助金等を利用していても、こちらも利用できるのであれば被るだろうし、その辺りはこれからの検討になるのだろうと思う。

委員 | コミュニティファンドでは、補助金の金額は決まっているのだろうか。

事務局 | これから作られるのか、検討中なのか、申し訳ないが、そこまで把握できていない。

委員 | 酒田市の補助金のように上限20万円なら、なかなか大きな事業にはならないだろうし、初歩的というか、一般市民に寄り添うようなボランティア活動になるのかなと思う。

会長 | どのように進めていくのか、これから注視していければと思う。

6 閉会